

積載荷重について

①作業床の最大積載荷重は、次表に示された値以下、かつ、同時積載は2層までとする

梁間方向の支柱間隔		1層1スパンの積載荷重
40cm以上90cm未満		200Kg
90cm以上	連続スパン載荷の場合	250Kg
	1スパン置き載荷の場合	400Kg

②最大積載荷重は床付き布枠の許容荷重を超えないこと

③梁枠で構成された開口部上方の足場の全積載荷重は800Kg以下とする

④足場には最大積載荷重を表示すること

積載荷重とは

積載荷重とは、作業員、資材、工具等を作業床に積載したときに生じる鉛直荷重のことをいう。この荷重は、作業床から梁間方向の腕木材を伝わり緊結部付支柱に伝わっていくと考えられる。このため、くさび緊結式足場の場合は腕木材の許容支持力についても考慮しなければならない。

弊社取り扱い部材

床付き布わく、緊結部付床付き布枠の許容積載荷重	
幅(mm)	許容積載荷重(Kg)
250	125
400	200
500	250

積載参考例

①連続スパンの積載荷重

連続スパンとは1本の緊結部付支柱を挟んで隣り合う同じ層のスパンをいう。

また、1本の緊結部付支柱を挟んで隣り合うスパンであっても、異なる層に積載する場合は連続スパン以外に該当する。

1) 作業床総幅400mmの場合

$A, B, C, D, E \leq 200\text{Kg}$

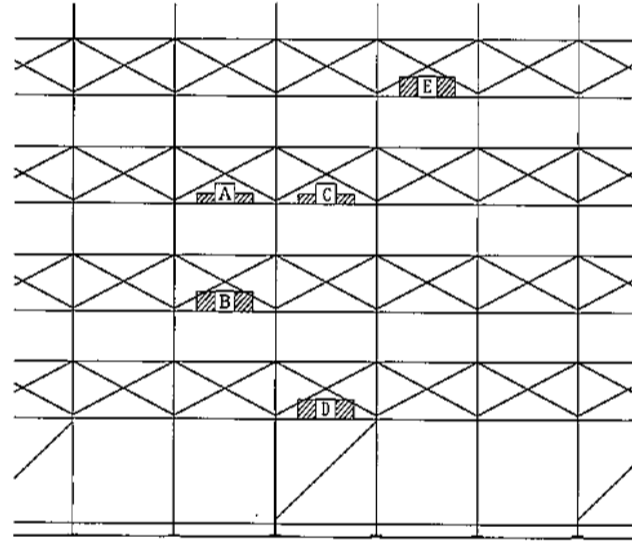
- ・A、B及びC、Dスパンの他の層にはこれ以上積載出来ない
- ・Eスパンにはどの層でも1層200Kgまで積載可能

2) 作業床の総幅800mmの場合

$A, C \leq 250\text{Kg}$

$B, D, E \leq 400\text{Kg}$

- ・A、B及びC、Dスパンの他の層にはこれ以上積載できない
- ・EスパンにはC、Dに隣接しない位置に400Kg積載可能
- ・C、Dに隣接する層は250Kgまで積載可能



②梁枠上の積載荷重

足場構面にくさび式足場用梁枠により設けた開口部上部は鉛直荷重によるたわみが大きくなるこのため、この部分は通常の積載荷重より低減させる必要がある。

そこで、一般的な使用における自重等と梁枠の強度の双方を吟味しこの値を決めたものである。

1) 作業床の総幅400mmの場合

$A, B, C, D \leq 200\text{Kg}$

$A+B+C+D \leq 800\text{Kg}$

- ・A、Bスパンの他の層にはこれ以上積載できない
- ・Cスパンには他の層に200Kgまで積載可能
- ・Dスパンには、どの層でも1層200Kgまで積載可能

2) 作業床の総幅800mmの場合

$A, C \leq 250\text{Kg}$

$B, D \leq 400\text{Kg}$

$A+B+C+D=800\text{Kg}$

- ・A、Bスパンの他の層にはこれ以上積載できない
- ・Cスパンには他の層がB、Dに隣接するため250Kgまで積載可能
- ・DスパンにはCに隣接する層には250Kgまで、隣接しない層には400Kgまで積載可能

